

会 議 録 (案)

会議の名称	令和4年度 第2回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	令和5年2月24日(金) (午前)・午後) 10時 開会 (午前)・午後) 12時 閉会
開催場所	市役所南館8階 中会議室
議 長	出口委員(委員長)
出席者	落合委員、木村委員、出口委員、雨森委員、飯嶋委員、池上委員 平田委員 【7人】
欠席者	原田委員、川本委員
事務局職員	中井市民文化部長、今西文化振興課長、松本文化振興課課長代理兼振興係長、川寄文化振興課政策係長、山上文化振興課主査、天野文化振興課職員 【6人】
開催形態	公開
議題(案件)	(1) 市民WSの開催状況の報告について (2) 現行の文化振興ビジョンの総括について (3) 文化振興ビジョン骨子案について (4) その他
配布資料	(1) 次第 (2) 資料1「茨木市文化振興ビジョン策定のためのWSまとめ」 (3) 資料2「文化振興ビジョン 各理念・取組ごとの総括(案)」 (4) 資料3「文化振興ビジョンの骨子(案)」 (5) 資料4「理念の改定内容(案)」 (6) 資料5「取組の改定内容(案)」
傍聴人	2人

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西文化振興課長	本委員会は会議録会議資料を含め原則公開で運営する。前回同様傍聴者は入室済みである。出口委員長に議事進行をお願いする。
出口委員長	1 開会 ただ今から、茨木市文化振興施策推進委員会を開催する。 案件に入る前に、事務局より12月の委員会中止の経緯についてご説明をさせていただきます。
今西文化振興課長	昨年12月に本委員会は開催予定でお知らせもしておりましたが、急遽直前に中止のご連絡をいたしましたこと、改めて大変申し訳ございませんでした。お詫び申し上げます。WSの開催にあたり、調整等に予定以上に時間を要し、会議でご審議いただくための資料の作成が追いつかず、そのまま開催しても十分なご議論をしていただけないと判断し、委員長に報告の上中止の決定をいたしました。前々より会議日程は決まっております、また年末のご多忙な時期にお時間を確保いただいておりますのに大変申し訳ございませんでした。今後の開催につきましてはしっかりとスケジュールを管理し、来年以降も委員会は続いてまいりますので二度とこのようなことがないように運営して参りたいと存じます。大変申し訳ございませんでした。
出口委員長	本件については、委員長としても大変責任を感じております。年末のご多忙な時期に皆様にお時間を確保いただいておりますながらこのようなこととなり深くお詫びしたいと思います。どうも大変失礼いたしました。引き続き皆様のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。 それでは最初に、委員の出席状況等、事務局より説明をお願いします。
今西文化振興課長	委員の出席状況を報告する。全委員は9人だが、本日は原田委員、川本委員から欠席の連絡を受けている。本日出席の委員は7人ということで過半数の出席をしており、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項により、会議は成立している。
出口委員長	2 議事 では、これより案件の審議に入る。次第に沿って議事をすすめる。 案件について事務局から説明をお願いします。
今西文化振興課長	本日は3件の案件がある。1件目は「市民WSの開催状況の報告について」、2件目は「現行の文化振興ビジョンの総括について」、3件目は「文化振興ビジョン

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	骨子案について」の審議である。
今西文化振興課長	(1) 市民WSの開催状況の報告について まず1件目について担当者より説明する。
山上文化振興課主査	【資料1「茨木市文化振興ビジョン策定のためのWS」説明】
出口委員長	今の説明について、ご意見ご質問等あるか。
雨森委員	どのように人が集められたのか、呼びかけたのか気になった。例えばこの大学生は同じ専攻のゼミの学生であると想像したが、集まった人によって出てくるアイデアは異なる。どのようにWSを設計されたのか。
川寄文化振興課政策係長	追手門学院大学の地域創造学部の授業の中で、講師として文化振興ビジョンや取り組み内容の説明したうえで、WSの告知をして参加者を募集した。同じ学部である程度文化に興味のある学生が集まった。
木村委員	コロナ禍の中で、美術の世界も展覧会を通じてふれあいや人とつながることを重視してきたが、コロナが終息するとより一層それらが求められるかと思う。WSでもそのようなことが話として出てきていると感じた。美術の世界も単に展覧会で作品を発表するだけではなく、WSを開催して、観客と作家、美術の世界の人々などが話し合う、ふれあいを考えている。
出口委員長	資料を見る限りWSは非常に楽しそうである。施策だけではなく、美術の現場でもWSのようなものが開かれるだろうという話であった。平田委員はから特にないか。
平田委員	特にない。
出口委員長	それでは次の案件について説明をお願いします。
川寄文化振興課政策係長	(2) 現行の文化振興ビジョンの総括について 【資料2「文化振興ビジョン 各理念・取組ごとの総括(案)」説明】
出口委員長	皆様からのご質問ご意見をお伺いしようと思うが、詳細に入ったため、いまの位

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
各委員	<p>置づけについて説明をすると、次の議案、文化振興ビジョンの骨子案と関連しており、その前にまず現行の文化振興ビジョンについて説明があったと理解している。大きな骨子を踏まえたうえで、はじめに質問のある方は質問して、その後全員より意見を伺う。質問等はないか。</p> <p>【意見等なし】</p>
出口委員長	<p>それでは、私から説明を聞いてよく分からなかった点について。総括において、達成度・必要性・方向性というのがあるが、文化振興ビジョン骨子案を作る上で一番大事なのは方向性ということで間違いはないか。その場合、拡充と継続とがあるが、拡充と継続以外の選択肢もあるが、いま出ているのがこの2つという認識でいいのか。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>方向性については拡充、継続、縮小の3段階で評価しているが、文化振興ビジョンの総括をした結果、拡充と継続の2つとなった。</p>
出口委員長	<p>やや高い、やや低い、の達成度については何段階あるのか。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>4段階で評価しており、達成度と必要性は、高い、やや高い、やや低い、低い、の4つから判定している。</p>
出口委員長	<p>現行の文化振興ビジョンと一致した場合はどういった表現となるのか。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>文化振興ビジョンの取組みとして達成出来ていれば、高い、という評価となる。</p>
出口委員長	<p>さらにこれは文化振興ビジョンを市が総括したものであり、これについて委員に意見を求めるということである。それでは順番に、池上委員から何か意見等はあるか。</p>
池上委員	<p>総括を拝見すると、方向性が重要ではないかという話があったが、確かに拡充が多く継続も入っており、どれも大切な項目かと思うため、引き続き取り組みをお願いしたい。コロナ禍で外に出て何かを体験するという機会が制限されている中、自分自身を振り返ると、学生時代に写生大会や市民会館での映画鑑賞など、その時の思い出は鮮明に残っており、先生方からの意見や評価も自分の中に残っている大切な経験の1つである。縮小がないため、引き続き水準を高めていくために取り組ん</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>出口委員長</p> <p>飯嶋委員</p>	<p>で欲しい。</p> <p>それでは飯嶋委員から何かご意見等があればお願いしたい。</p> <p>理念2・3・4について関して提案したい。理念2-2、いつでもどこでも文化芸術にふれられる環境づくり、については、おにクルに特化するだけではなく、市内にあるコミュニティセンターの充実もあげたい。防音室が非常に少なくなっており、夕方5時から90%以上が使用できなくなっている。仕事が終わってから音楽を楽しむなどの、音出しが出来ない状況となっている。こういった施設の充実を図ることで、いつでもどこでも、という言葉に繋げて欲しい。もう一つは、いますぐではないが、クリエイトセンターの2階の多目的ホールを防音にすることで、稼働率がかなり上がるかと思う。前回は提案していたかと思うが、このあたりも、いつでもどこでも、につながるのではないか。次の理念3、文化芸術の担い手の育成という部分については、市の方で年1回、新人演奏会を催しており、年によっては一人しかいないこともあり、その年の人数にもよるかと思うが、どうすれば人が集まるのか、広報など力を入れて若い人が集まって担い手が育ってほしいと思う。理念4について、川端康成のゆかりの地として文化交流をするということだが、川端康成の単独開催も素晴らしいと思うが、何かとのコラボレーションという形で、人がより集まりやすくなるのではないか。音楽なり美術なりとコラボすることで、市民に分かりやすい、気軽に参加しやすいものにできればと思う。理念5に関しては、本日持参した資料を見ていただきたいと思うが、音楽芸術協会には150名ほどのプロの集団が居る。幅広く浸透しているのが「あちこち配達便」などで、コロナで中断しているが、年間30~35施設にて、会場に足を運べない方に向けて演奏会を実施していて好評いただいている。幅広くという部分に繋げてみたいが、小中学生向けの鑑賞会については前回は提案しているが、校長会に連絡をしても反応が鈍く大変残念である。学校に出向くこともあれば、おにクルを使って大ホールに何校か集まってもらうなど、生の演奏をぜひ皆さんに感じていただきたい。茨木市を音楽の街にしたいという願いから、小さいころからの育成に関して取り組んでみてはどうかと思う。また、トワイライトコンサートの復活に関しては、大阪市内で大阪クラシックを実施しており、一週間から10日間、プロの演奏家が無料で、喫茶店や銀行、市役所のロビーを借りて演奏会を実施している。楽器などの運搬費などは大阪市が負担しているが、演奏会は無料で30分楽しんでいただける。茨木市では、市政50周年の時からはじめ13年間ほど続いていた。教育委員会や文化振興財団、観光協会からの後援で、千夜一夜物語のように、とにかく毎晩、演奏会を催していた。一番長い時で2週間実施しており、多くの方に集まっていた。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>このように市内を盛り上げていた時代もあった。これからの何かの参考になればということで書き出してみた。今度できる多目的ホールがオープンスペースとなるため、人が立ち止まって聞いていただく、例えば今はやりのピアノステーションのような形など、どんな形でもよいができればと思う。</p> <p>今後の話を具体的にたくさん伺った。議題に沿った形でいえば、これまでの総括として方向性が拡充となっている部分の説明であったかと思うが、方向性としては大体一致している。次のステップで支援を作って具体化する、という段階であろうかと思うため、まずはこれまでの文化振興ビジョンの達成度や今後の方向性について、次に落合委員より意見や質問があればお願いしたい。</p>
落合委員	<p>様々な事業が行われてきて、文化振興ビジョンの理念の各項目に対して具体的にやってきたことが改めて明確となり有難い。色々なことをやっている中で、今後の方向性でみると、各事業をやる中で、受講した人、鑑賞した人の満足度が上がり、人生の充足感が満たされていくことで充実していくと思うが、より一段まちづくりという視点も含めて、個々の充足に留まらず人と人との関係性、つながりの深まりを増していくような事業の組み立て方が、拡充する中で実施していく事業が増えていくのではないかと。例えば、ボランティアを募集する場合も、単に仕事をしてもらうだけではなく、ボランティア同士がコミュニケーションを図れるWSから企画して、そこに一つのコミュニティを作っていくということなどが、ますます今後求められていく。これまでも同様に企画され実現されたことはあったかと思うが、色々な事業の中でコミュニティを作ることがより重要になるのではないかと。自分自身、茨木はそれほど長くはないが、茨木について新たに知ることもあり、あるいは市民の中でもまだまだ知らないこともある。単発で取り上げるというよりは大きな企画の中で、茨木市の文化、文化財、歴史に広げていくことができればいいのではないかと考える。</p>
出口委員長	<p>次に雨森委員よりお願いしたい。</p>
雨森委員	<p>達成度がやや低かった取組1-2 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成と、取組3-2 文化芸術の担い手の育成について、後者は芸術家をイメージされていて、前者はアートマネジメントやコーディネーターをイメージされているということではないか。取組1-2の評価がやや低かったということで、次回に向けてはもう少し具体的にイメージしながらアクションプランや具体的な事業を組み立てる必要があるのではないかと。1-2、3-2 どちらの取組にも当てはまるが、育成するだけではな</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
木村委員	<p>く、そのような人たちが活躍できる場を作り、仕事として成立して生活をしていくことができるということで役割を担っていけると考える。育成してその後の出口がないという現実も多い。人材を活かしていく場も含めて考えていただきたい。</p> <p>文化振興ビジョンが市民を導くというのではなく、市民自らが未来を拓く主体としたところに希望を託したい。</p>
出口委員長	<p>次に平田委員よりお願いしたい。</p>
平田委員	<p>先ほど指摘のあった取組1－2つなぐ人材の部分については、私も指摘をしたかった部分である。従来、どの自治体もコーディネーターに賃金を払わない、あるいはコーディネーターは行政が担える、という感覚が根付いている。教育、医療と同等の専門性があるので、位置づけを明確にし、ボランティアや市民の自発的な活動に頼るのではない、専門的人材の配置が必要だと考える。</p> <p>昭和の時代までの自治体における文化活動はどちらかと言えば生涯教育に属して、市民の自発的活動を応援する形であった。これが徐々に社会教育にシフトし、いまは文化による社会包摂という位置づけが強くなっている。自発活動を応援することはもちろん、一方でそこに届かない方たちをどうケアするかが文化政策の大きな役割となっていく。文化に触れられる環境づくり、いつでもどこでも、ということには謳っているが、さらにギアをあげて積極的に届けていく、ひとり親世帯など自然状態ではなかなか文化芸術に触れることができない人たちに向けて、市は情報発信に留まらず、届けて実際に参加してもらうまで責任をもって取り組むことが今後の文化政策において重要だと考える。そのためには教育委員会との連携が非常に重要である。学校教育の中で、すべての子供たちに芸術文化に触れてもらう、全校で音楽鑑賞する、観る、聴く、WSをするなどの授業が今後一層重要となってくる。もう一点、未来について書いていただき、いずれも拡充ということで有難く感じている。ポイントとしては、取組3－2に若い芸術家が日頃の活動を発表できる機会を設け、次世代を担う若手芸術家の活躍の場を広げるとともに、新しく先鋭的な文化芸術についても市民の理解や共感を得られるよう発表の機会の増大、とあり、ここでは市外からも芸術家を呼んで来て活動してもらうということで、これはこれまでの茨木市の文化政策から大きな活動内容の変更になるため、相当な覚悟を持ってやる必要がある。例えば、東京オリンピックの文化プログラムは、ロンドンオリンピックの文化プログラム成功に習い実行したがあまり成功しなかった。最大の違いは、ロンドンオリンピックでは世界中のアーティストを呼び込んでロンドン・イギリスで作品を作り発信してもらうというコンセプトだったが、東京オリンピックの</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>文化プログラムは日本文化の発信にこだわったため、日本人しか参加しなかった。本来ならば少なくともアジアの若手のアーティストを呼び込んで日本を体験してもらい、日本についての作品を作ってもらい、発信してもらうべきであった。要するに茨木市の素晴らしい伝統や文化について、いかに外の目、若い視点で作品にして発信していくかが、おにクルの新しい大きな役割の一つになるかと思う。これまでの文化政策とは違う次元のものとなるため、この部分の理解を市民の方々にどう深めていくかが大きなポイントになると考える。</p> <p>次の議題に関わる重要な意見であった。さらに社会包摂としての文化芸術という極めて現代的で重要な指摘もあった。博物館法がかわったが、これも今後の文化振興ビジョンに影響してくるかと思う。</p> <p>理念5の文化のまちとしてのブランド形成について「継続」となっているが、なぜ「継続」であるのか。おにクルができるわけで、これまでの文化振興ビジョンを総括したときに、文化のまちとしてのブランド形成が「継続」でいいのかどうか。他の部分は拡充となっているが、おにクルは何のために税金を投じて作ったのか。大拡充としてもいいくらいだと思う。委員の皆さんの意見はどうか。</p>
雨森委員	<p>拡充できればよいが、文化のまちとしてのブランド形成というのは、そのほかの部分もすべて含まれて形成されていくのかと思うため、ここを拡充するというよりは、どの部分を拡充することで形成することができるかを議論すると良いのかと思う。</p>
出口委員長	<p>この部分について、委員長としては「継続」ではなくぜひ「拡充」としていただきたい。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>今伺った意見を踏まえて、再度検討をする。</p>
雨森委員	<p>拡充がかなり多いが、拡充するということは予算が増えるということなのか。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>考え方としては、今やっていることを予算は変えずに膨らますというやり方と、予算を投じて膨らますというやり方と、質と量の両方の側面で考えており、もっと推進していきたい方向性で拡充としている。</p>
今西文化振興課長	<p>連携、協働、共創というように、色々な事業と関係性を持っていくということで拡充をしていくということも考えており、拡充がすべて予算額に比例しているかと</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>いうと、行政内の考え方を変えていくという意味でもある。拡充には色々なところが絡んでおり、色々な意味が含まれているということで理解されたい。</p> <p>文化振興施策推進委員会が拡充と言わない限り、予算が縮小することはあってもあまり変化はないと考えたほうがいい。</p> <p>そろそろ時間となるため、次の議題へ移りたい。事務局より説明を求める。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>(3) 文化振興ビジョン骨子案について</p> <p>【資料3「文化振興ビジョンの骨子(案)」、資料4「理念の改定内容(案)」、資料5「取組の改定内容(案)」説明】</p>
出口委員長	<p>皆さんから意見や質問等を伺う前に、スケジュールの確認となるが、本日議論の対象となるのは、文化振興ビジョンの骨子(案)であり、文章の見出しとなる部分についてであると思うが、詳細の部分についてはまた別の機会を設けてということでもいいか。</p>
川寄文化振興課政策係長	<p>文章の詳細の部分である素案については、また別の機会で意見を伺う。</p>
出口委員長	<p>それではこのことを踏まえて、木村委員より順番に意見をお願いしたい。</p>
木村委員	<p>いまのところは特にない。</p>
出口委員長	<p>では、雨森委員から意見等があればお願いします。</p>
雨森委員	<p>先ほどのつなぐ人材の育成の部分がぼやけているように思う。理念2のところについて、すこし逆行している印象があった。もう少し具体的に、専門人材を育成、雇用していくような文言が入るといい。そういう人材が居ることで、他の事業が充実していくことにもなるのではないか。</p>
今西文化振興課長	<p>骨子で言葉だけを示しても我々がイメージしている内容が伝わりにくいため、現段階での取組の方向性を記載している。特に取組については伺った意見を踏まえて今後議論していきたいと考えている。</p>
出口委員長	<p>次に、落合委員から意見等があればお願いしたい。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
落合委員	理念1の中の4項目について、もう少し分かりやすい方向性、章立ての文言が必要だと感じた。
平田委員	先ほど申し上げたことがほとんど共通しているが、変更点を強調してこういう書式となっているかと思うため、このまま整理して分かりやすくして欲しいと感じた。
出口委員長	説明を聞いた印象では、先ほどの平田委員の意見は大体取り上げられていたかと思う。それでは飯嶋委員から意見をお願いしたい。
飯嶋委員	現場の立場として、具体的なことを先ほど述べさせていただいた。できるだけ書かれている内容に沿って具体的なことを考えたい。
池上委員	資料3の確認となるが、改定版第4章の3「色とりどりの文化が息づき、いつも新たな文化が生まれるまちづくり」の中にある、「いつも」とは、いわゆる日々という意味なのか、今ある文化財や芸術作品をより進化していく日々、水準をあげていくという意味なのか、どのように理解すればいいのか。
川寄文化振興課政策係長	こちらの「いつも」については、日々更新していくという意味で使用している。
池上委員	ここでは、たとえば新興の芸術家が作品を発表するという意味合いで使われているということか。
川寄文化振興課政策係長	そういう意味も含んでいる。
出口委員長	このほかに何か質問等はないか。資料3の4章で5つあったものを3つにするというところが一番のポイントである。 いまのように、文言などが本当にこれでいいのかなどはないか。例えば「色とりどり」というのはどのような意味合いがあるのか。
川寄文化振興課政策係長	おにクルが出来ることで人とことが結びつくことで、色々な文化が生まれるということで、色とりどりという言葉を使用している。
出口委員長	質問を変えると、文化の多様性など様々な行政用語で「多様」という言葉が使われているが、あえて積極的にこの言葉を使用した理由はあるのか。これが悪いとい

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
川寄文化振興課政策係長	う意味ではなく、なぜこの言葉なのかという点について。 先ほど説明した内容について、タイトルとしてこれが外に出るときに、どう書けば市民にとって伝わりやすいかと考えた。
出口委員長	通常言われている「多様な」という言葉と同じ意味で、市民にとってわかりやすくするという事。市民の方にはこちらの方が分かりよいということである。 第4章を5つから3つに変える積極的な意図は何か。
今西文化振興課長	できるだけストーリー性にこだわった。色々な展開はあるかと思うが、なるべく3つの方向性が1つの流れとなり、市民に説明できるようにした。前回のように項目立てた方向性より、理解しやすさにこだわったため、逆に言えば少し抽象的な方向性にも見えてしまうかもしれないが、いったんはそのような点に重きを置いた。
出口委員長	理解した。おにクルができるわくわく感が感じられる表現であると個人的には感じた。前と同じだとわくわく感がないが、おにクルができ、親しみやすさ、文化芸術に触れやすくなるという印象が溢れていると感じる。そのほか委員の皆様から意見等はないか。この議題については以上でよいか。
各委員	【意見等なし】
出口委員長	(4) その他 私から確認したいこととして、振興ビジョンの期間、年次について1年前倒しがあった件について、説明が必要だと思うため事務局よりお願いしたい。
川寄文化振興課政策係長	文化振興ビジョンの前倒しの理由については大きく二つある。ひとつは、現行文化振興ビジョンの制定後、文化芸術基本法の改正や障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の制定があり、その法律で示された内容に対応できていない部分があるというのが一つ。またもう一つは、今年の11月におにクルが開館することで、本市の文化をとりまく状況も大きく変化するため、おにクルの開館の年にあわせ、改定年度を1年前倒しした。
飯嶋委員	最近、近隣自治体のホールがほぼ同時期にオープンしたり、建設中であるが、それらの情報は参考にしているのか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
川寄文化振興課政策係長	計画等含め新しい施設に関する情報は収集し参考にしている。
飯嶋委員	オープンに向けての情報発信については全国に向けて分かるように考えてほしい。
出口委員長	おにクルが出来ることは非常に大きなことであるため、文化振興ビジョンが出来上がり、実際に冊子を作成する際は、デザインを含めて内外の期待に応えられるようなわくわく感を出してほしい。平田委員から何かあるか。
平田委員	特にない。
出口委員長	そのほか、最後に一言何かあるか。
今西文化振興課長	先ほどの「色とりどり」という文言については、行政の用語として最終的にこれで決定するかも含めて、もう一度、本日の審議内容を庁内の検討委員会で諮る為、大きな意味としては変更しないものの多少文言の修正があるかもしれない。その点については了承いただきたい。
出口委員長	一貫した形で市民に分かりやすいということとの両立をお願いしたい。
出口委員長	3 閉会 以上で本日の審議はすべて終了する。 事務局から最後に連絡事項はあるか。
事務局	本日の会議録についてはメールまたは郵送で送付し、内容を確認後、公開する。 次回の委員会は令和5年 の6月以降を予定している。 開催日時については、改めて事務局より調整の連絡をする。
出口委員長	それでは本日の会議は終了する。ありがとうございました。

以上